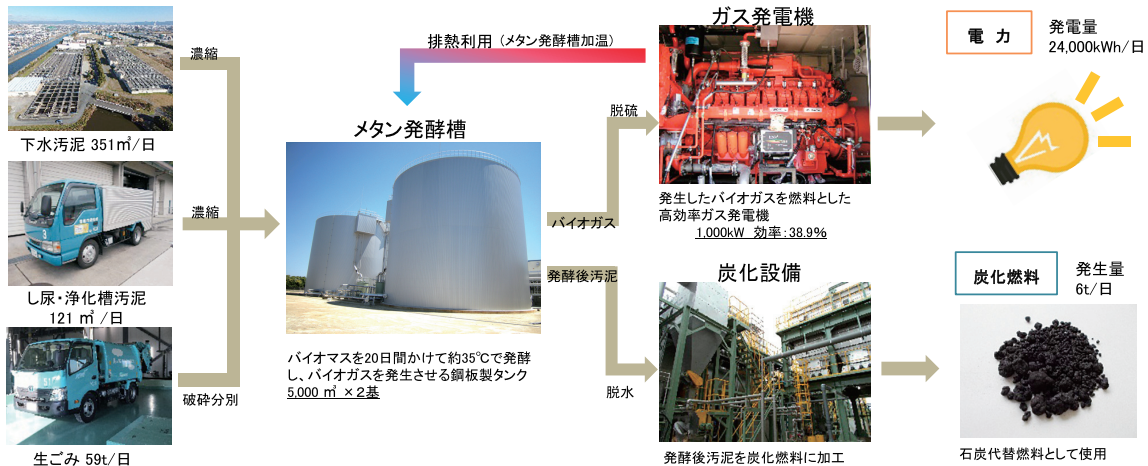
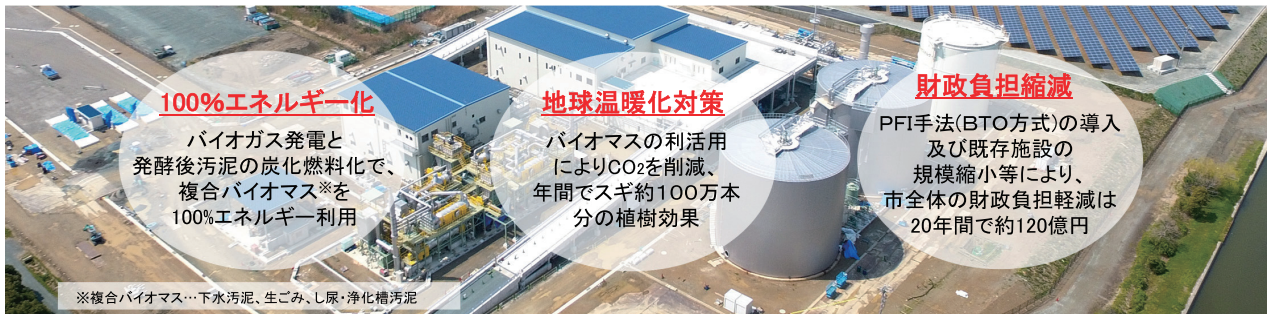


# イノベーション部門

## 国内最大規模の複合バイオマス利活用施設

豊橋市

豊橋市では、**国内最大規模**の複合バイオマス利活用施設の整備・運営事業を進めています。



### PRポイント!

本事業は、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び**市民の皆様**に分別していただいた**生ごみ**を下水処理場である中島処理場に集約し、この複合バイオマスの利活用を図る取組みです。まず、集約したバイオマスをメタン発酵させ、取り出したバイオガスを用いて発電し、一般家庭**約1,890世帯分**の電力を電力会社に売却します。また、発酵後に残った汚泥は、石炭代替の炭化燃料に加工してエネルギーとして利用し、これにより、投入されたバイオマスを**100%エネルギー化**します。

本事業の実施にあたってPFI手法を導入することで、現在の別々での処理を続けた場合と比べ、市全体として20年間で**約120億円**の財政負担縮減を図ることとなります。複合バイオマス利活用施設としては国内最大規模となる「豊橋市バイオマス利活用センター」は、平成29年10月から供用開始します。

### Key Person



下水道施設課 主幹  
七原 秀典

530（ごみゼロ）運動発祥の地である豊橋市では、環境に対する新たな取組みとして、下水汚泥に加えて市内全域の生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を含めた複合バイオマス利活用施設の整備・運営事業を進めています。

より効率的なメタン発酵の促進のため、今まで別の部局で担当していた下水汚泥と生ごみ等の処理を集約化し、PFI手法を導入するという試みは、本市にとって全く前例のない取組みです。このため、下水道事業と環境事業、PFI事業者との密接な連携が欠かせません。また、平成29年度からは、市民の皆様にご協力いただきながら生ごみの分別・収集を開始しました。

これまでの皆様のご協力に感謝するとともに、豊橋市が目指す「環境を大切にすまじづくり」の推進に向け、事業が安定・継続するよう関係者と連携しながら取組みを進めてまいります。